

「北白川だより」 後期臨時号

平成 2 9 年 3 月 2 2 日

京都市立北白川小学校

校 長 山崎 弥生

本号は、今年度後期の学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面は、「生活面」について今年度前期と比較した「表」を載せています。

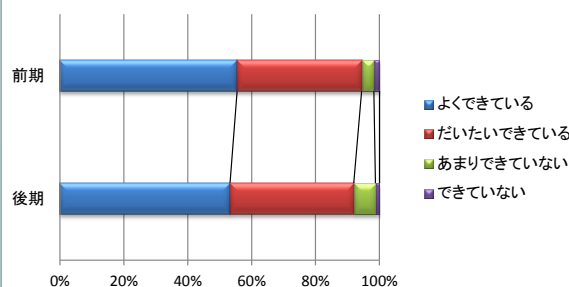
生活面の設問は全 7 項目ありますが、特に、今年度、新たに設けた「進んでそうじをすること」と、「子ども自身が自分の良さを認めること、保護者や教職員が子どもの良さをほめること」について、「グラフ」にしています。

表の A は「よくできている」、B は「だいたいできている」、C は「あまりできていない」、D は「できていない」を示しています。

設問「そうじじかん（15 ふんかん）、じぶんからすすんでそうじをしている」に対して、約 9 割の子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。また、「できていない」という回答が前期に比べて減っていることもわかります。

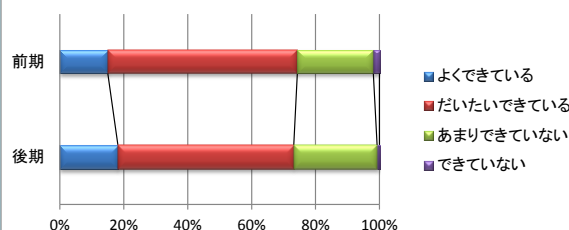
「掃除をしっかりとしよう」という意識が子どもたちの中で広がっており、喜ばしいことです。

じぶんからすすんでそうじしている

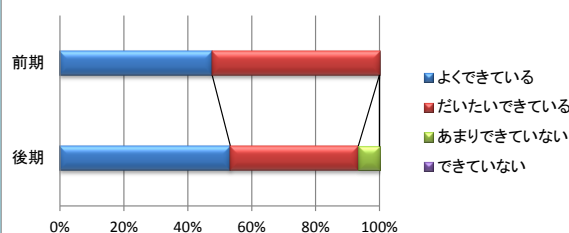


子どもたちを支える保護者・教職員は…

我が子が自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように声をかけている



自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように働きかけている



平成28年度 後期 学校評価アンケート <生活面> ※今年度前期との比較																	
子どもたち		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
じぶんからすすんであいさつをしている。	今年度後期	57.7%	38.9%	3.0%	0.4%	我が家では、進んで挨拶するように声をかけている。	今年度後期	37.0%	57.1%	5.5%	0.4%	進んで挨拶ができるように働きかけている。	今年度後期	53.3%	40.0%	6.7%	0.0%
	今年度前期	62.1%	34.4%	2.5%	1.1%		今年度前期	35.2%	60.3%	3.9%	0.7%		今年度前期	45.5%	50.0%	4.5%	0.0%
じぶんのきもちをことばでつたえることができている。	今年度後期	30.3%	52.6%	15.0%	2.1%	我が家では、子どもに自分の気持ちを正しい言葉で伝えるように声をかけている。	今年度後期	29.9%	62.2%	7.9%	0.0%	自分の気持ちを正しい言葉で伝えるように働きかけている。	今年度後期	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	今年度前期	34.6%	47.0%	15.9%	2.5%		今年度前期	26.1%	63.2%	10.1%	0.7%		今年度前期	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%
ともだちをたいせつにし、なかよくしている。	今年度後期	76.9%	22.6%	0.0%	0.4%	我が家では、友だちを大切に、仲よくするように声をかけている。	今年度後期	49.0%	49.5%	1.5%	0.0%	友だちを大切に、仲よくできる学級づくりに取り組んでいる。	今年度後期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	今年度前期	76.8%	20.4%	2.5%	0.4%		今年度前期	56.4%	42.7%	1.0%	0.0%		今年度前期	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%
こまったことは、せんせいやかぞくにそうだんしている。	今年度後期	39.6%	38.7%	16.5%	5.2%	我が家では、子どもが話しやすい雰囲気をつくるようにしている。	今年度後期	31.0%	63.7%	5.3%	0.0%	子どもたちと会話する機会を積極的に設けている。	今年度後期	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%
	今年度前期	48.6%	35.6%	13.0%	2.8%		今年度前期	29.3%	62.5%	7.5%	0.7%		今年度前期	40.9%	50.0%	9.1%	0.0%
ちこくをしないようにとうこうしている。	今年度後期	71.2%	19.7%	6.0%	3.0%	我が家では、我が子がちこくをしないように働きかけている。	今年度後期	54.5%	42.9%	2.6%	0.0%	基本的な生活習慣が定着するように働きかけている。	今年度後期	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	今年度前期	76.1%	14.8%	7.4%	1.8%		今年度前期	56.7%	36.7%	5.9%	0.7%		今年度前期	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
そうじじかん(15ふんかん)、じぶんからすすんでそうじをしている。	今年度後期	53.2%	38.7%	6.8%	1.3%	我が家では、我が子が自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように声をかけている。	今年度後期	18.1%	55.0%	26.1%	0.8%	自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように働きかけている。	今年度後期	53.3%	40.0%	6.7%	0.0%
	今年度前期	55.4%	38.9%	3.9%	1.8%		今年度前期	15.0%	59.3%	23.8%	2.0%		今年度前期	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%
じぶんのよいところがいえる。	今年度後期	35.0%	41.5%	17.1%	6.4%	我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。	今年度後期	31.6%	56.9%	11.5%	0.0%	子どものよさを認め、ほめている。	今年度後期	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
	今年度前期	38.9%	37.8%	15.5%	7.8%		今年度前期	30.4%	57.5%	10.8%	1.3%		今年度前期	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%

上の表や左のグラフから、設問「我が家では、我が子が自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように声をかけている（保護者）」に対して、「よくできている」の回答が前期よりも増えていることがわかります。

また、設問「自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように働きかけている（教職員）」に対して、「よくできている」の回答が前期よりも増えていることがわかります。保護者と教職員が同じおもいで子どもたちに働きかけることができていること、とてもありがたいです。

今後は、箒をモップのように使わないことや窓を拭くときには、ぬれ雑巾で拭いた後、乾いた雑巾を使うとより美しくなることなど、掃除用具の適切な使い方も子どもたちに伝えていきたいと考えます。

上の表や右のグラフから、設問「我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている（保護者）」に対して、「よくできている」「だいたいできている」の回答が前期よりも増えていることがわかります。

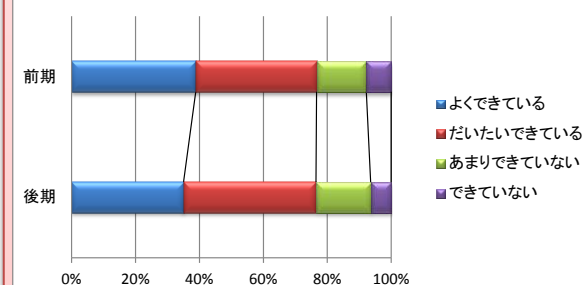
また、設問「子どものよさを認め、ほめている（教職員）」に対して、「よくできている」の回答が約 3 割増えていることがわかります。

子どもたちのやる気や頑張りを引き出すためにも、ご家庭や学校で「子どもたちのよさを認め、ほめること」を引き続き意識していきたいと考えます。

更に、連絡帳や電話連絡や家庭訪問を通して、子どもたちのよさを保護者の皆さんと共通理解を図っていくことができればと考えています。

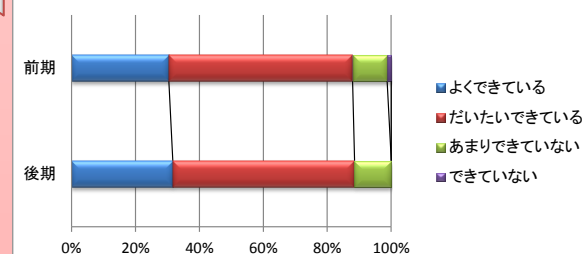
設問「じぶんのよいところがいえる」に対して、約 7 割 6 分の子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。

じぶんのよいところがいえる

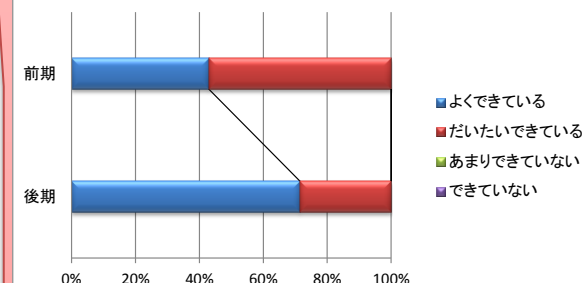


子どもたちを支える保護者・教職員は…

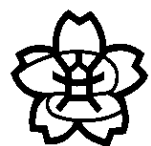
子どものよさを認め、ほめる努力をしている



子どものよさを認め、ほめている



平成 28 年度



「北白川だより」 後期臨時号

平成 29 年 3 月 2 2 日

京都市立北白川小学校

校 長 山崎 弥生

裏面は、「学習面」について今年度前期と比較した「表」を載せています。学習面の設問は全 5 項目ありますが、特に、「いえでじぶんからがくしゅうをしている」について、「グラフ」にしています。

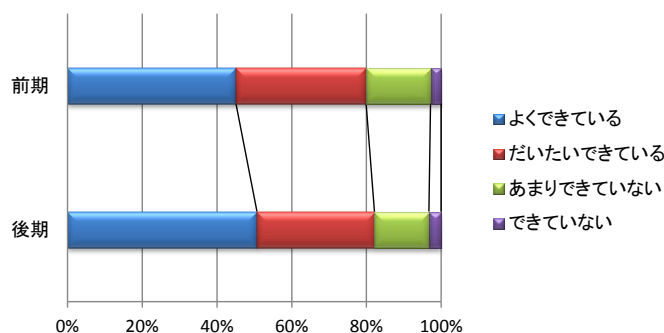
表の A は「よくできている」、B は「だいたいできている」、C は「あまりできていない」、D は「できていない」を示しています。

また、家庭学習や家庭で心がけておられることに関して、保護者の方々に記述していただいた内容を抜粋し、紹介しています。

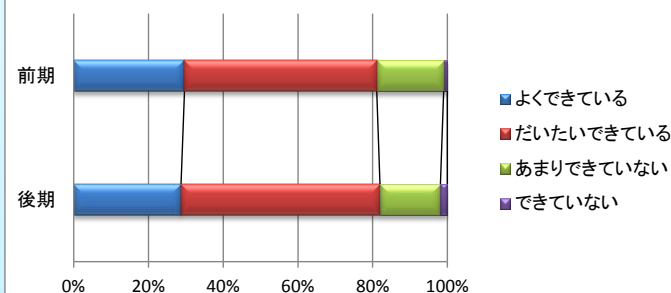
平成28年度 後期 学校評価アンケート ＜学習面＞ ※今年度前期との比較

子どもたち		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
じゅぎょうがわかりやすくていい。	今年度後期	54.0%	29.5%	11.0%	5.5%	我が子は、授業がわかりやすいと言っている。	今年度後期	31.0%	60.9%	7.6%	0.6%	わかりやすく楽しい授業を実践している。	今年度後期	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	今年度前期	60.9%	27.8%	7.7%	3.5%		今年度前期	29.6%	61.6%	7.5%	1.3%		今年度前期	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
じゅぎょうちゅう、すすんではっぴょうしている。	今年度後期	40.4%	27.7%	23.9%	8.0%	我が子は、意欲的に学習に取り組んでいる。	今年度後期	32.0%	55.1%	12.4%	0.6%	意欲的に学習に取り組むことができるように工夫している。	今年度後期	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%
	今年度前期	37.7%	34.5%	19.7%	8.1%		今年度前期	35.9%	51.6%	11.8%	0.7%		今年度前期	27.8%	66.7%	5.6%	0.0%
けいさんやかんじのちからがみにっている。	今年度後期	44.7%	43.7%	10.2%	1.5%	我が子には、読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身にっている。	今年度後期	35.7%	52.7%	11.1%	0.6%	読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身につくように取り組んでいる。	今年度後期	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%
	今年度前期	51.6%	37.1%	10.2%	1.1%		今年度前期	34.5%	54.7%	9.1%	1.6%		今年度前期	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
いえでじぶんからがくしゅうをしている。	今年度後期	50.7%	31.5%	14.6%	3.3%	我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	今年度後期	28.7%	53.3%	16.1%	1.9%	家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	今年度後期	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%
	今年度前期	45.1%	34.9%	17.3%	2.8%		今年度前期	29.6%	51.5%	17.9%	1.0%		今年度前期	11.1%	83.3%	5.6%	0.0%
ほんをよくよんでいる。	今年度後期	57.4%	23.8%	11.9%	6.9%	我が家では、本を読むことが定着するように働きかけている。	今年度後期	28.9%	36.2%	30.6%	4.3%	読書の習慣が定着するように働きかけている。	今年度後期	21.4%	64.3%	14.3%	0.0%
	今年度前期	57.4%	27.5%	10.9%	4.2%		今年度前期	31.3%	35.2%	29.3%	4.2%		今年度前期	22.2%	61.1%	16.7%	0.0%

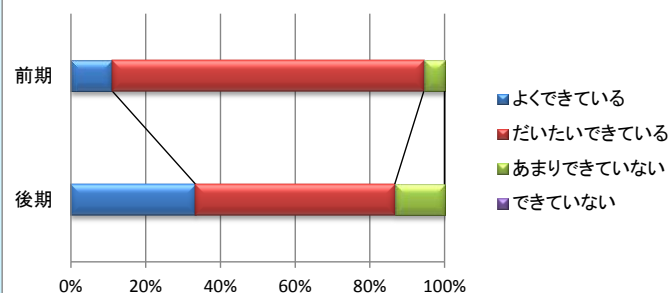
いえでじぶんからがくしゅうをしている



我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている



家庭学習の習慣が定着するように働きかけている



設問「いえでじぶんからがくしゅうをしている」に対して、約 8 割の子どもたちが肯定的な回答をしています。保護者の回答からも家庭学習の習慣が定着するように働きかけておられることがわかります。教職員の回答からも「あまりできていない」と振り返っている部分もありますが、家庭学習の習慣が定着するように自主勉強や読書を勧めています。

前期臨時号でも書いていたとおり、小学校 6 年間だけではなく、中学校も含めた義務教育 9 年間を見据えたとき、自主的に学習に取り組む習慣は、自己実現への大きな基盤になります。今回も、ご家庭では、どのような働きかけがされているのかを右に紹介します。

「記述欄から～家庭学習が定着するように、家庭で働きかけていること～」

- ・学習することが嫌いにならないように、好きな本を読んだり、その感想を家族で話したりすることで楽しく学習につながるようにしています。
- ・小学生新聞の記事で読めそうな内容の記事をすすめています。(同意見有)
- ・リビングで宿題をさせ、ワークもリビングに置いて、やりたいときにできるようにしています。図鑑や地球儀もリビングに置いて、子どもがみたいときにみられるような環境にしています。(同意見有)
- ・リビングに「辞書」「事典」等を置き、疑問があればすぐに自分で調べることができるようにしています。
- ・図書館を定期的に利用するようにしています。(同意見多数)
- ・朝、登校前に家庭学習の時間を決めて行っています。(同意見多数)
- ・家に帰ったら、すぐ宿題をすることを約束しています。(同意見多数)
- ・何を学習するのか、子ども自身に決めさせて、主体性をもたせるように心がけている。時計を近くに置いて、時間を意識して学習するようにしている。苦手分野を話し合って自覚させるようにしている。
- ・持ち帰ったテストは見直し、覚え直しをさせています。次の日に授業でする部分の教科書をみておくように声かけしています。

「記述欄から～家庭学習に関することに加えて、家庭で心がけていること～」

- ・少しずつ声かけをしなくても挨拶したり、本を読んだり、家庭学習ができるようになりました。親にとっても大変なときもありますが、声かけだけではなく、親がそういう姿をみせることが大事だと思います。
- ・家庭学習が習慣になるように関わってきました。学年が上がってきたので、自分で決めて（量や取り組む時間）やるようにしています。しかし、少し反抗期も加わって、いつもいつも一定量がこなせる訳ではなくなりました。“やらせる”よりも“自己の判断”のもとやって欲しい！でも、そうするとやはり楽な方に流れていきます。“やらせる”べきなのか？親のとるべき態度にも悩みます。約束した分はさせますが、その約束が自分で決めさせると甘くなります。
- ・子どもの学習を親も一緒に学ぶようにしています。(同意見多数)一緒に考え、話し合うようにしています。そうすることによって、子どもが親に解説してくれたり、誤りをしてくれたりします。学ぶという受け身だけではなく、教えるということも大切だと感じています。
- ・親として、生活面や学習面において、できる限り前向きな気持ちを大切に、日常生活から色々な分野へつなげていける判断力を子どもに身に付け、状況の変化に対応できる人間としての強さを身に付けさせたい。
- ・我が家では、家族でコミュニケーションをとるように話しやすい環境をつくるようにしています。子どもにも無理にしつこく問いかけるのではなく、自分から学校であったこと（楽しかったこと、つらかったこと）を話してくれるような雰囲気をつくるように心がけています。

「なかなか読書週間が身に付かず、困っております。効果的な方法があれば知りたいです。」「どうしたら家庭学習が定着するのか、切実に知りたいです。」といった内容の記述もありました。

前期及び後期の「北白川だより臨時号」や「北白川だより『北白川の響育』」が、家庭学習や読書週間の定着に向けて、また、子どもたちへの関わりを考える機会になれば幸いです。

保護者の皆様からいただいた励ましのお言葉、要望などについても教職員が共通理解を図りたいと考えています。

子どもたちの成長のために、学校と保護者が連携して教育活動を進められますよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。次年度も、よろしくお願い申し上げます。